



2025 年 4 月 17 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 A B E J A
代 表 者 名 代表取締役CEO 岡田 陽介
(コード番号：5574 東証グロース市場)
問 合 せ 先 取締役CFO 英 一 樹
(TEL. 03-6387-9222)

**ABEJA が構築した 7B の小型 LLM「ABEJA Qwen2.5-7B Model」が
同規模 LLM における最高水準の精度に到達**

当社は、「GENIAC (Generative AI Accelerator Challenge)」の元、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構が進める「ポスト 5G 情報通信システム基盤強化研究開発事業／ポスト 5G 情報通信システムの開発／競争力ある生成 AI 基盤モデルの開発（助成）」に採択され、LLM および周辺技術の研究開発を進めております。

当社が、本プロジェクトにおいて構築した 7B の小型 LLM「ABEJA Qwen2.5-7B Model」が汎用言語性能指標である MT-Bench において、最高水準かつ OpenAI の「GPT-3.5 Turbo」などを超える精度に到達いたしましたことをお知らせいたします。

なお、本件による当社業績へ与える影響は現時点で軽微と考えておりますが、中長期的に当社の業績の向上に資するものであると考えております。今後、公表すべき事項が発生した場合には速やかに公表いたします。

詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

以 上

各 位

**ABEJA が構築した 7B の小型 LLM「ABEJA Qwen2.5-7B Model」が
同規模 LLM における最高水準の精度に到達**



人と AI の協調により「ゆたかな世界を、実装する」株式会社 ABEJA（本社：東京都港区、代表取締役 CEO：岡田 陽介、以下「ABEJA」）は、「GENIAC（Generative AI Accelerator Challenge）」※¹の元、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下「NEDO」）が進める「ポスト 5G 情報通信システム基盤強化研究開発事業※²／ポスト 5G 情報通信システムの開発／競争力ある生成 AI 基盤モデルの開発（助成）」（以下「競争力ある生成 AI 基盤モデルの開発」）に採択され、LLM および周辺技術の研究開発を進めております。

このたび ABEJA は、本プロジェクトにおいて構築した 7B の小型 LLM「ABEJA Qwen2.5-7B Model」が汎用言語性能指標である MT-Bench において、最高水準かつ OpenAI の「GPT-3.5 Turbo」などを超える精度に到達いたしましたことをお知らせいたします。

ABEJA は、「ゆたかな世界を、実装する」を経営理念に掲げ、ミッションクリティカル業務への AI 導入支援のため、基盤システムとなる ABEJA Platform の開発・導入・運用を行う「デジタルプラットフォーム事業」を展開しています。ABEJA Platform は、ミッションクリティカル業務における堅牢で安定した基盤システムとアプリケーション群であり、生成 AI をはじめとする最先端技術による運用が人と AI の協調により実現可能です。ABEJA は、2012 年の創業時より ABEJA Platform の研究開発を進めており、顧客企業からの信頼のもと、数多くの導入を進めることで「テクノロジーの力で産業構造を変革する」ミッションに取り組んでいます。

ABEJA は、LLM の社会実装における「精度とコストのトレードオフ」の課題解決に向け、LLM および周辺技術の研究開発を進めております。

GENIAC においては、2024 年 2 月より第一期、第二期と連続で採択され、第二期では高い精度を有する 50B 以下および 10B 以下の 2 つの小型化モデルの開発に取り組み※³、2025 年 1 月に「GPT-4」を上回る性能となる 32B のモデルを構築したことを発表いたしました。

URL：<https://www.abejainc.com/news/20250127/1>

このたび ABEJA は、本プロジェクトの一環である 10B 以下の小型モデルの開発に関して、汎用的言語性能を図る指標である MT-Bench で、同規模のモデルにおける最高水準かつ OpenAI の「GPT-3.5 Turbo」などを超える精度に到達した、7B の小型モデル「ABEJA Qwen2.5-7B Model」を構築いたしました。

上記の指標結果に基づき、ABEJA は「ABEJA Qwen2.5-7B Model」は、提案書の作成や論理推論、情

報抽出などの特定理系タスクにおいて、実運用可能な性能と運用コストの両立を実現したモデルであると認識しております。

また、「ABEJA Qwen2.5-7B Model」は、量子化した上でエッジデプロイした際に、複数のモデルを同時に併用することも可能にするため、ビジネスプロセスに適用した際の利便性が大幅に向上します。

なお、ABEJA は、「ABEJA Qwen2.5-7B Model」を 2025 年 1 月に構築した 32B のモデルをベースにした「蒸留」の手法を用いて構築いたしました。「蒸留」とは、大きなモデルが持つ処理能力を小型モデルに移管する技術で、これにより、計算リソースを削減しながら、元のモデルに近い精度を保つことが可能となります。

ABEJA は、今後、LLM が抱える「コストと精度のトレードオフ」に更なるイノベーションを起こすべく、限られたリソース下での推論速度と精度のさらなる向上に向けて、小型モデルの構築アプローチを含める周辺技術の研究開発を推進してまいります。

MT-Bench における主なモデルの総合スコア

モデル名	総合スコア
参照 / 32B小型モデル(ABEJA)	8.29
ABEJA Qwen2.5-7B Model	7.26
anthropic.claude-3-haiku	7.13
CohereForAI-aya-expense-8b	6.91
Qwen2.5-7B-Instruct	6.86
gpt-3.5-turbo	6.82
Meta-Llama-3-8B-Instruct	6.21

出典：Nejumi Leaderboard3

ABEJA は、引き続き、LLM の社会実装を推進し、ABEJA の企業理念である「ゆたかな世界を、実装する」の実現に努めてまいります。

この成果は、NEDO の助成事業の結果得られたものです。

※1 GENIAC (Generative AI Accelerator Challenge)：日本の生成 AI の開発力強化を目的とした経済産業省および NEDO が推進するプロジェクト。

※2 ポスト 5G 情報通信システム：第 5 世代移動通信システム (5G) より更に超低遅延や多数同時接続といった機能が強化されたポスト 5G に対応した通信システムを指す。

https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/joho/post5g/index.htm

※3 第一期における当社発表および成果発表は以下よりご確認ください。

<https://www.abejainc.com/news/20240202/1>

<https://www.youtube.com/watch?v=70nYBgBxCdw>

第二期における当社発表は以下よりご確認ください。

<https://www.abejainc.com/news/20241010/1>

■ 株式会社 ABEJA について

ABEJA は、「ゆたかな世界を、実装する」を経営理念とし、「ABEJA Platform」を基盤に顧客企業の基幹業務のプロセスを変革し、ビジネスの継続的な収益成長の実現に伴走する「デジタルプラットフォーム事業」を展開しています。2012 年の創業時より ABEJA Platform の研究開発を進めており、これまで多種多様な業界・業態の 300 社以上のデジタル変革を ABEJA Platform 上で実現してきました。また、「Human In the Loop」をはじめとする高度なノウハウやアプローチを用いて、デジタル変革に必要な「人と AI の協調」を実現し、戦略的かつ効率的に顧客の基幹業務を変革し、さらにはビジネスモデルの革新に取り組んでいます。

本社：東京都港区三田一丁目 1 番 14 号 Bizflex 麻布十番 2 階

設立：2012 年 9 月 10 日

代表者：代表取締役 CEO 岡田 陽介

事業：デジタルプラットフォーム事業

URL：<https://abejainc.com>